

【2019年参议院議員選挙・立候補予定者アンケート】

はらや なみ（北海道選挙区・国民民主党）

1. 憲法9条「改正」について、どのようにお考えですか。

- a. 賛成 b. 反対 c. その他

理由

私は護憲ありきでも改憲ありきでもありません。現行憲法の理念である「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」を、そして立憲主義を堅持します。一方で、時代の変化を見据え、未来志向の憲法を積極的に議論する必要が有るとも考えます。

2. 泊原発再稼働について、どのようにお考えですか。

- a. 賛成 b. 反対 c. その他

理由

国民民主党のエネルギー政策の基本は「2030年代原発ゼロに向け、あらゆる政策資源を投入」し「再生可能エネルギーへのシフトによる分散型エネルギー社会の実現」するというものです。泊原発の再稼働については、厳格な安全基準の徹底による原子力規制委員会の審査の合格と、具体的で現実的な避難計画の作成、加えて、地元との皆さんとの合意が必須と考えます。

3. 高レベル放射性廃棄物の「幌延深地層研究計画」について、どのようにお考えですか。

- a. 賛成 b. 反対 c. その他

理由

調査研究については否定するものではありませんが、「放射性廃棄物を持ち込むことや使用することはしません。研究終了後は、地下施設を埋め戻します。研究実施区域を放射性廃棄物の最終処分場とせず、中間貯蔵施設も設置しません。」といった協定内容が遵守されるのは当然であり、絶対と思います。

4. 「(仮称)放射能汚染防止法」制定について、どのようにお考えですか。

- a. 賛成 b. 反対 c. その他

理由

前述の通り、国民民主党は、『2030年代のできるだけ早い時期』に原発ゼロを目指し、あらゆる政策資源を投入することなどを公表しています。そのため、「汚染土」についても、中間貯蔵施設で保管されている除去土壌等について、『2030年代のできるだけ早い時期』に、福島県外の「汚染土」における最終処分（全国の公共事業に再利用せず）を完了するための取り組みを確実に進める必要性を感じています。

5. 食の安心・安全を守るため、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。

戸別所得保証制度や種子法の復活で生産者を守る取り組みが急務です。また、遺伝子組み換え・アレルギーなど消費者目線の食品表示制度への見直し、輸入食品の監視体制強化・トレーサビリティの促進で安全・安心な食品の提供体制を確立したいと考えています。

6. 社会保障制度の充実に向け、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。

先日発表された国民民主党の政策にも有りますが、児童手当や給付型奨学金の大幅な拡充や年金問題の抜本的な改革、また、相談ダイヤル「よりそいホットライン」などの充実等、孤独を支える対策を始めなくてはなりません。

7. 男女平等社会の確立に向け、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。

日本が1985年に批准した女性差別撤廃条約に基づく選択議定書（条約とは別に独立して作成される法的国際文書）の批准への実現に向けて活動します。また、選択的夫婦別姓の実現など、多様な家族の有り方を受け入れる社会の構築を目指します。